

令和7年度 「志教育」 全体計画

宮城県第二工業高等学校

校 訓	
明朗闊達	勤労愛好

本校の教育目標
(1) 民主的で、教養豊かな社会人の育成 (2) 基礎学力の涵養と技術の習熟に励み、日々進展する科学技術に十分に適応し活躍できる工業人の育成 (3) 責任を自覚し、合理的な判断力と創造的な行動力のある職業人の育成

生徒の実態、教師の願い
・素朴で純朴な性格で、資格取得の講座などにも積極的に参加する目的意識の高い生徒が多い。 ・資格取得等への指導・助言を通して、自己実現への認識、目標達成を図っていきたい。

保護者や地域の願い
・毎日登校して、元気に学校生活を送ってほしい。 ・将来役に立つ技術を身に付けてほしい。

「志教育」の目標
1 教養豊かな社会人の育成 2 将来、工業のスペシャリストとして自立する。 3 高い倫理観・責任感を養い、判断力・行動力に富む社会人の育成

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・様々な人と、場に応じた適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・他者を理解し、尊重できる。	・学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感できる。 ・学業と仕事の両立を実践する。	・学校や社会において自己の果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	意欲的に学習する態度を育成し、各教科の基礎的・基本的な知識と技術を習得を図る。専門科目の諸課題を主体的・具体的に解決し、実際に活用する資質・能力、態度を育てる。
道徳	・基本的な生活習慣と社会性を身に付け、自立した生徒を育成する。 ・望ましい人間関係を深め、謙虚に他に学ぶことで自らを高めようとする態度を養う。 ・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献するよう自己の責任や自覚を促す。
総合的な探究	工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。(「課題研究」で代替)
特別活動	学校行事などに主体的に参加し自発的・自治的な活動を通して自主性や社会性を身に付け、進んで学校生活の充実や改善向上を図ろうとする態度を養う。 学校の行事を通し、集団生活の在り方、モラルやマナー、他者との関わり合いを学ぶ。
その他	・生徒の安全を守る防災教育を通し、安全・防災への意識を身に付ける。 ・これまでの生活を振り返り、自己の夢や志を他者に向け発表する「校内生活体験発表会」を実施し、自己の在り方、生き方について考える態度を育成する。

各学年の取組内容	
1年	・学校生活に慣れるよう、生徒面談・生徒理解に取り組み、生徒個々の特性を掴む。 ・夜間定時制工業高校での学校生活の在り方を指導する。 ・他者との関わり方について、最低限のルールを守るよう指導する。 ・進路講話、科長講話の実施。
2年	・学習活動への関心・意欲・態度を養う。 ・委員会活動を通して、自己の役割を自覚し、取り組むよう促す。 ・3年次における選択教科の選択を通して次学年への取り組みを考えさせる。 ・進路講話、科長講話の実施。
3年	・進路講話、面談、求人票の閲覧等を通して将来を考えさせる。 ・検定や資格と職業の関係について指導し、より高い資格への挑戦や取り組み方を指導する。 ・委員会活動を通して自己の役割を自覚し行動するよう促す。 ・4年次における選択教科の選択を通して次学年への取り組みを考えさせる。 ・進路講話、科長講話の実施。
4年	・進路希望に基づいて自己の将来について積極的に取り組む態度を醸成し、進路実現を目指す。 ・成りたい自分と成れる自分との差を自覚しその差を埋めるよう指導する。 ・内定、合格後の生活指導を通して、卒業後の社会参加や自分で生活を作っていくことを考える。

家庭との連携
・欠席、遅刻、早退以外にも、生徒の変化について家庭と密な連絡を取り合い、協力関係を築く。 ・学校評価を通じて、保護者の要望も含め検討・協議を図り学校運営に反映させる。

地域・企業との協働
・学校評議員との意見交換や学校評価の検討を通じてよりよい生徒への支援の在り方について協議し学校運営に反映させる。 ・企業ニーズを知り、企業に生徒の個性・能力を見ってもらうことを通して本校の特色を知ってもらい、進路達成に結びつくよう取り組む。